

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公 告 日	令和3年1月5日	
工事番号	都建第89号	
工 種	土木	
工 事 名	市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事	
施工場所	小矢部市 平田 地内	
工事完成期限	令和3年 3月29日	
工事概要	施工延長 L=45.8m、幅員 W=6.5m 塗膜除去工（塗膜剥離剤）A=639m ² 、塗装塗替（下塗, 中塗, 上塗）A=639m ² 足場工（タイプA3）A=342m ² 有害物ばく露対策工（負圧集塵装置、真空掃除機等）一式、交通管理工 一式	
予定価格	40,700,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価値	・平成31・令和2年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の土木工事において、A等級又はB等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和3年1月18日 から 令和3年1月25日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和3年1月27日 9時00分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和3年1月20日	
質問に対する回答期限	令和3年1月22日	

令和 2 年 度

都 建 第 89 号

市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事

工事実施設計書

小 矢 部 市

令和 2 年 度				小 矢 部 市 役 所						
設 計 書										
小矢部市				平田		地内				
市 道 埴 生 東 蟹 谷 線 瑞 穂 橋 補 修 そ の 2 工 事										
設計額 ￥										
第 8 9 号	工事 大要	施工延長	L	=	45.8	m				
		幅員	W	=	6.5	m				
		塗膜除去工(塗膜剥離剤)	A	=	639	m ²	足場工(タイプA3)	A	=	342 m ²
		塗装塗替					朝顔工(板張、シート張)	A	=	342 m ²
		下塗、中塗、上塗	A	=	639	m ²	剥離剤養生工	A	=	342 m ²
							プラスト工養生工	A	=	342 m ²
						有害物ばく露対策工				
						(負圧集塵装置、真空掃除機等)	N	=	1 式	
						交通管理工	N	=	1 式	

特記仕様書

工事名：市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書（富山県土木部）令和元年 10 月」によるものとし、第 1 編共通編 1-1-2 第 6 項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない機関

- 1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって工場製作のみが行われる期間
- 2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 工事材料の確認

下記の主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。

確認対象材料 塗膜剥離剤、塗料等

第4条 塗装仕様

1 本工事の塗装仕様は「鋼道路橋防食便覧（H26.3：（社）日本道路協会）」より以下に示すものとする。

なお、塗装色は前回塗装色と同色とし、塗装前に見本（試験塗板）を作成のうえ、監督員に協議するものとする。

Rc-Ⅰ 塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1 種		4 時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1 日～10 日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1 日～10 日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1 日～10 日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1 日～10 日

※原則はスプレー塗装とするが、監督員との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。

※現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

※ブラスト処理による除せい度は ISO Sa 2 1/2 とする。

2 以下に示すとおり、気象条件に留意して塗装作業を行うものとする。

塗装禁止条件

塗料の種類	気温（℃）	湿度 (RH%)
有機ジンクリッチペイント	5 以下	85 以上
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5 以下	85 以上
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	5 以下	85 以上
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	0 以下	85 以上

第5条 公害対策（鉛等有害物を含有する塗料の剥離等作業）

既設塗膜には、下表のとおり鉛等有害物を含有しているため、受注者は、平成 26 年 5 月 30 日付け厚生労働省「鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に基づき、関係法令を順守するとともに、ばく露対策や安全衛生保護具を使用する等の適切な措置を講じること。また、その内容（作業体制、作業方法、作業場のばく露対策、処理方法等）について、施工計画書に具体的に記載するものとする。

既設塗膜調査結果

項目	含有量	溶出試験（mg/L）
PCB	<0.10 mg/kg	<0.0005
鉛	16 %	0.83
クロム	0.4 %	<0.05

第6条 塗膜除去工（塗膜剥離剤）

塗膜除去工（塗膜剥離剤）については、施工回数を 1 回と想定した積算となっているが、実施にあたっては複数の塗膜剥離剤による試験施工を行い、監督員と協議したうえで塗膜剥離剤及び施工回数等を決定するものとする。

第7条 汚染物の処理・処分

剥離等作業によって発生した塗膜くずや有害物が付着したごみは、密閉可能な容器に封入して処理するものとする。

なお、処分数量は現場環境・施工計画等により発生数量が変動するため、当初から計上することは困難であるので、施工完了後に監督員と協議を行い設計変更するものとする。

第8条 安全管理

- 1 工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を行い安全確保に努めなければならない。
- 2 道路上での作業にあたっては、交通誘導警備員を配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。なお、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合は、別途協議により変更する。

第9条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策に努める。

第10条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内地産品を優先使用するものとする。

第11条 下請関係の適正化

本工事を下請に付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請負の禁止の徹底等について」を遵守すること。

第12条 社内検査の実施

請負者は、工事の途中段階及び完成時において、発注者の検査前に社内検査を実施するものとし、時期・内容等について施工計画書に記載すること。また、実施結果について監督員に提示するものとする。

第13条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないよう配慮すること。

第14条 起工測量

本工事実施にあたり、起工測量を行い損傷箇所や範囲を確認すること。
設計図書の精査し、施工計画書に反映させること。

第15条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0001 建設課 実施設計書 0	当初	
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 07 砺波地区 0-02. 12. 15(0)		
諸経費体系	1 公共		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	40 06 鋼橋架設 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10		

本工事費内訳表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
道路修繕・橋梁保全工事										Y1802	
現場塗装工										Y280207	
橋梁塗装工										Y38020701	
下塗										Y4802070103	
	塗膜除去工（塗膜剥離剤） 土木工事標準単価方式				式					SS232 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1, F=0.5	
		639		m2						施工 第0-0001号表	
	清掃・水洗い 塗替塗装 通常箇所									SS081 0 A=1, B=1, C=1	
		639		m2						施工 第0-0002号表	
	塗替塗装 素地調整 1種ケレン 通常箇所									SS045 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=2	
		639		m2						施工 第0-0003号表	
	塗替塗装 下塗り塗装 有機ソリッチペイント（スプレー） 通常箇所									SS046 0 A=7, B=1, C=1, D=1	
		639		m2						施工 第0-0004号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	塗替塗装 下塗り塗装 弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料(2層)スプレー 通常箇所									SS046 0 A=3, B=1, C=1, D=1	
		639		m2						施工 第0-0005号表	
中塗										Y4802070104	
					式						
	塗替塗装 中塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 (スプレー) 通常箇所									SS047 0 A=3, B=3, C=1, D=1, E=1	
		639		m2						施工 第0-0006号表	
上塗										Y4802070105	
					式						
	塗替塗装 上塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (スプレー) 通常箇所									SS048 0 A=3, B=3, C=1, D=1, E=1	
		639		m2						施工 第0-0007号表	
仮設工										Y280209	
鋼橋補修用足場工										Y3900	
					式						
鋼橋補修用足場										Y4900	
					式						
	吊足場工 タイプA3									V0004 0	
		342		m ²						施工 第0-0008号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
床面シート張防護工						V0001 0
	342	m ²				施工 第0-0009号表
朝顔工 床版補強工 朝顔工 両側設置						S5550 0 A=3
	342	m ²				施工 第0-0010号表
防護工 床版補強工 板張防護工 両側設置						S5551 0 A=1, B=1
	342	m ²				施工 第0-0011号表
防護工 床版補強工 シート張防護工 両側設置						S5551 0 A=2, B=1
	342	m ²				施工 第0-0012号表
剥離剤養生工 剥離剤用養生シート工						V0002 0
	342	m ²				施工 第0-0013号表
ブラスト養生工 ブラスト用養生シート設備工						V0003 0
	342	m ²				施工 第0-0014号表
有害物ばく露防止対策工						Y38020921
有害物ばく露防止対策						Y4802092105
			式			
負圧集塵装置 リース費 必要風量43m3/min						W0001
	1	台・月				

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
真空掃除機 リース費 CTH-26E相当品						W0001
	1		台・月			
エアーシャワー リース費 SS-AS-10T(S)相当品						W0001
	1		台・月			
セキュリティールーム						W0001
	1		式			
交通管理工						Y38020925
交通誘導警備員						Y4802092501
			式			
交通誘導警備員						S7192 0 A=0, B=1, C=7
	1		式			施工 第0-0015号表
直接工事費						
技術管理費						Z0006
			式			
溶出試験						Y2ZZ0601
			式			

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費の試験費等						#0049
溶出液作成料						W0001
	1		検体			
溶出試験（鉛）						W0001
	1		検体			
安全費						Z0009
			式			
鉛等呼吸用保護具等費用						Y2ZZ0909
			式			
フィルタ V3/0V同等品						W0001
	234		個			
化学防護服						W0001
	234		着			
化学防護手袋						W0001
	234		双			
シューズカバー						W0001
	234		足			

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費 (率分)											
					式						
共通仮設費計											
純工事費											
現場管理費											
					式						
現場管理費計											
工事原価											
一般管理費等											
					式						
工事価格											
消費税等相当額											
					式						

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
請負対象工事費											
工事価格計											
消費税等相当額計											
請負対象工事費計					式						

施 工 内 訳 表

[名 称] 塗膜除去工（塗膜剥離剤）						1	m2	当り
[規格 1] 土木工事標準単価方式			[規格 2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
塗膜剥離材塗布・塗膜除去 鈹桁・箱桁構造 時間制約無 昼間	1. 00		m2					TL821
塗膜剥離材塗布・塗膜除去 廃材の回収・積込 時間制約無 昼間	1. 00		m2					TL833
塗膜剥離剤	0. 54		kg					TD706
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1		m2					
A=1 鈹桁構造・箱桁構造 C=1 時間的制約無し E=1 塗膜剥離剤塗布・塗膜除去の施工回数				B=2 廃材の回収・積込 有り D=1 標準（昼間） F=0. 5 塗膜剥離剤材料標準使用量（kg／m2）				

施工内訳表

頁0-0010

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 塗替塗装 素地調整						1	m2	当り
[規格1] 1種ケレン						[規格2] 通常箇所		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考		
橋梁塗装工 塗替塗装 (素地調整) 1 種ケレン 制約無 昼間	1. 00	m2				TL683		
橋梁塗装工 塗替塗装 (素地調整) 研削材等の回収・積込工 制約無 昼間	1. 00	m2				TL701		
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	m2						
A=1 1種ケレン C=1 時間的制約無し E=2 研削材及びケレンかす回収・積込工 有り				B=1 通常箇所 D=1 標準 (昼間)				

施工内訳表

頁0-0012

[illegible]

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 塗替塗装 下塗り塗装						1	m2	当り
[規格1] 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー			[規格2] 通常箇所					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
橋梁塗装工 塗替塗装(下塗 スプレー) 弱溶剤形変性エポキシ 2層 制約無 昼間	1.00		m2					TL710
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		m2					
A=3 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー C=1 時間的制約無し				B=1 通常箇所 D=1 標準 (昼間)				

施工内訳表

頁0-0014

小 矢 部

施工内訳表

頁0-0015

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 吊足場工						1	m ²	当り
[規格1] タイプA3						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
橋梁特殊工			人				R2019	
足場損料			月				W0001	
単位当り	1		m ²					

施 工 内 訳 表

[名 称] 床面シート張防護工						1	m ²	当り
[規格1]						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
橋梁特殊工			人					R2019
床面部シート損料			月					W0001
単位当り	1		m ²					

施 工 内 訳 表

[名 称] 朝顔工						1	m2	当り
[規格1] 床版補強工						[規格2] 朝顔工 両側設置		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
橋梁特殊工			人				R2019	
足場損料			月				J0001	
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		m2					
A=3 朝顔工 両側設置								

S5551

施 工 内 訳 表

施工 第0-0011号表

頁0-0019

[名 称] 防護工						1	m2	当り
[規格1] 床版補強工						[規格2] 板張防護工 両側設置		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
橋梁特殊工			人				R2019	
防護工損料			月				J0001	
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1		m2					
A=1 板張防護工				B=1	両側設置			

S5551

施 工 内 訳 表

施工 第0-0012号表

頁0-0020

[名 称] 防護工						1	m2	当り
[規格1] 床版補強工						[規格2] シート張防護工 両側設置		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
橋梁特殊工			人				R2019	
防護工損料			月				J0001	
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1		m2					
A=2 シート張防護工				B=1	両側設置			

施 工 内 訳 表

[名 称] 剥離剤養生工						1	m ²	当り
[規格1] 剥離剤用養生シート工						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
橋梁特殊工			人				R2019	
剥離剤工用養生設備損料			月				W0001	
単位当り	1		m ²					

施 工 内 訳 表

[名 称] ブラスト養生工						1	m ²	当り
[規格1] ブラスト用養生シート設備工			[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
橋梁特殊工			人					R2019
養生シート損料			月					W0001
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1		m ²					

施工内訳表

頁0-0023

小 矢 部

機 労 材 集 計 表

頁0-0024

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	R2019	23			橋梁特殊工	橋梁工世話役
2	R2053	37			交通誘導警備員B	その他労務
3	TD706	600		345.06	塗膜剥離剤	橋梁・河川・港湾用材
4	TL680	200		639	橋梁塗装工 塗替塗装	
5	TL683	200		639	橋梁塗装工 塗替塗装 (素地調整)	
6	TL701	200		639	橋梁塗装工 塗替塗装 (素地調整)	
7	TL710	200		639	橋梁塗装工 塗替塗装(下塗 スプレー)	
8	TL722	200		639	橋梁塗装工 塗替塗装(下塗 スプレー)	
9	TL752	200		639	橋梁塗装工 塗替塗装(中塗 スプレー)	
10	TL779	200		639	橋梁塗装工 塗替塗装(上塗 スプレー)	
11	TL821	200		639	塗膜剥離材塗布・塗膜除去	
12	TL833	200		639	塗膜剥離材塗布・塗膜除去	
13	WXXXX	966				

小 矢 部

【参考資料】

資材等単価表

工事番号:都建第89号

工事名:市道埴生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事

見積りにより定めた資材単価、施工単価については、下記のとおりです。

●資材単価及び施工単価

名称	規格	単位	単価	備考
負圧集塵装置	65m3/min・3.7kW相当	台・月	357,000	リース費(サポート料含む)
真空掃除機	CTH-26E相当	台・月	81,000	リース費(サポート料含む)
エアシャワー	SS-AS-10T(S)伸縮型相当	台・月	162,000	リース費(サポート料含む)
呼吸用保護具用フィルタ	V3/OV相当	個	2,270	

【留意事項】

本資材等単価表は、当該工事の予定価格算出に用いるため、小矢部市が独自の調査に基づき定めた資材単価等を記載したものであり、契約上の内容、市場の取引契約を拘束するものではありません。

瑞穂橋 補修数量総括表

[illegible]

項目	計算式	数量
下面(主桁・横桁・対傾構)		
湿式塗膜剥離剤工	$A = \underline{639.12 \text{ m}^2}$ ※ 別途添付計算書より	639.12 m2
塗装塗替工(Rc-Ⅰ)	$A = \underline{639.12 \text{ m}^2}$ ※ 別途添付計算書より	639.12 m2
下部工	A1橋台	
湿式塗膜剥離剤工	※ 下面(主桁・横桁・対傾構)湿式塗膜剥離剤工数量準拠	
塗装塗替工(Rc-Ⅰ)	※ 下面(主桁・横桁・対傾構)塗装塗替工数量準拠	
足場工		
吊足場 タイプA3 床面シート張防護工	$A = 7.50 \times 45.60 = \underline{342 \text{ m}^2}$	342 m2
朝顔工 タイプB シート張防護工、板張防護工	$A = 7.50 \times 45.60 = \underline{342 \text{ m}^2}$	342 m2
湿式塗膜剥離剤工用 養生設備工	$A = 7.50 \times 45.60 = \underline{342 \text{ m}^2}$	342 m2
ブラスト工用 養生設備工	$A = 7.50 \times 45.60 = \underline{342 \text{ m}^2}$	342 m2
安全衛生保護具		
湿式塗膜剥離剤工:6人、2個/日、13日、廃材回収積込:3人、2個/日、13日		
呼吸用保護具用フィルタ	$N = 6 \times 2 \times 13 + 3 \times 2 \times 13 = \underline{234 \text{ 個}}$	234 個
全身化学防護服	$N = 6 \times 2 \times 13 + 3 \times 2 \times 13 = \underline{234 \text{ 着}}$	234 着
防護手袋	$N = 6 \times 2 \times 13 + 3 \times 2 \times 13 = \underline{234 \text{ 組}}$	234 組
シューズカバー	$N = 6 \times 2 \times 13 + 3 \times 2 \times 13 = \underline{234 \text{ 足}}$	234 足

瑞穂橋 塗替面積総括表

(単位: m²)

部材名	1連分	2連分合計
主桁(G1、G3)	160.058	320.116
主桁(G2)	80.634	161.268
分配横桁	9.894	19.788
端対傾構	24.016	48.032
中間対傾構	30.028	60.056
横構	11.886	23.772
排水管	2.284	4.568
支承	0.756	1.512
合計	319.56	639.12

[illegible]

[illegible]

[illegible]

	断面	長さ	単位当たり 面積	単面積	員数	面数	面積	
	(mm)	(mm)	(m ² /m)	(m ²)	(部材)	(面)	(m ²)	
中間対傾構(4-req'd)								
上下弦材	100 × 4	2,563	0.400	1.025	4	1	4.101	
Guss(上弦材)	300 × 0.94	283	0.282	0.080	4	2	0.638	Net=0.94
斜材	90 × 4	1,300	0.360	0.468	4	1	1.872	
Guss(下弦材)	220	550	0.220	0.121	4	2	0.968	
Guss(下弦材)	300 × 0.78	235	0.234	0.055	4	2	0.440	Net=0.78
Guss(上弦材との当り面)	90	200	0.090	0.018	4	-2	-0.144	
Guss(下材との当り面)	90	550	0.090	0.050	2	-2	-0.198	
Guss(中間Stiffとの当り面)	80	283	0.080	0.023	4	-2	-0.181	
Guss(中間Stiffとの当り面)	80	235	0.080	0.019	4	-2	-0.150	
HTB	M22			0.0067	24	1	0.161	
1 @ 中間対傾構小計							7.507	
4 @ 中間対傾構合計							30.028	
端部格間横構(2-req'd)								
横構材	90 × 4	3,200	0.360	1.152	2	1	2.304	
横構材	90 × 4	2,900	0.360	1.044	2	1	2.088	
Guss	450 × 0.77	535	0.347	0.186	2	2	0.743	Net=0.77
Guss	325 × 0.79	505	0.257	0.130	2	2	0.519	Net=0.79
Guss	270 × 0.97	440	0.262	0.115	2	2	0.461	Net=0.97
Guss(端対傾構との当り面)	130	225	0.090	0.020	2	-2	-0.081	
Guss(中間対傾構との当り面)	100	225	0.090	0.020	2	-2	-0.081	
Guss(横構材との当り面)	90	155	0.080	0.012	8	-2	-0.198	
HTB	M22			0.0067	28	1	0.188	
1 @ 端部格間横構小計							5.943	
2 @ 端部格間横構合計							11.886	
排水管								
排水管	140 φ × 3.14	1,300	0.440	0.571	4	1	2.284	
	排水管合計						2.284	
支承								
支承	180	700	0.180	0.126	6	1	0.756	
	支承合計						0.756	

交通誘導警備員数量計算書

1 交通誘導警備員数量計算表

施工内容	規格	単位	設計数量	日当たり 施工量	所要日数	交通誘導警備員の配置		日当たり施工量の出典元
						日当たり 配置人員	延べ 配置人員	
吊足場設置	タイプ A3 床面シート張防護	m2	342	714	0.48 日			橋梁架設工事の積算 令和2年度版 4-20
朝顔設置	タイプ B 両側	m2	342	227	1.51 日			同上
板張防護工(設置)	両側	m2	342	278	1.23 日			同上
シート張防護工(設置)	両側	m2	342	1250	0.27 日			同上
小計①						1 人	3.5 人	
吊足場撤去	タイプ A3 床面シート張防護	m2	342	714	0.48 日			同上
朝顔撤去	タイプ B 両側	m2	342	227	1.51 日			同上
板張防護工撤去	両側	m2	342	278	1.23 日			同上
シート張防護工撤去	両側	m2	342	1250	0.27 日			同上
小計②						1 人	3.5 人	
合計③((①+②))							7.0 人	

A			
B	7 日	1 人	7 人

100 101
110 111
122 123

字名・地籍番地・用途地域につきましては
参考資料として御利用下さい。



位置図
都建第89号

【小矢部市】 深江、長、道林寺、名畑、平桜、平田、藤森

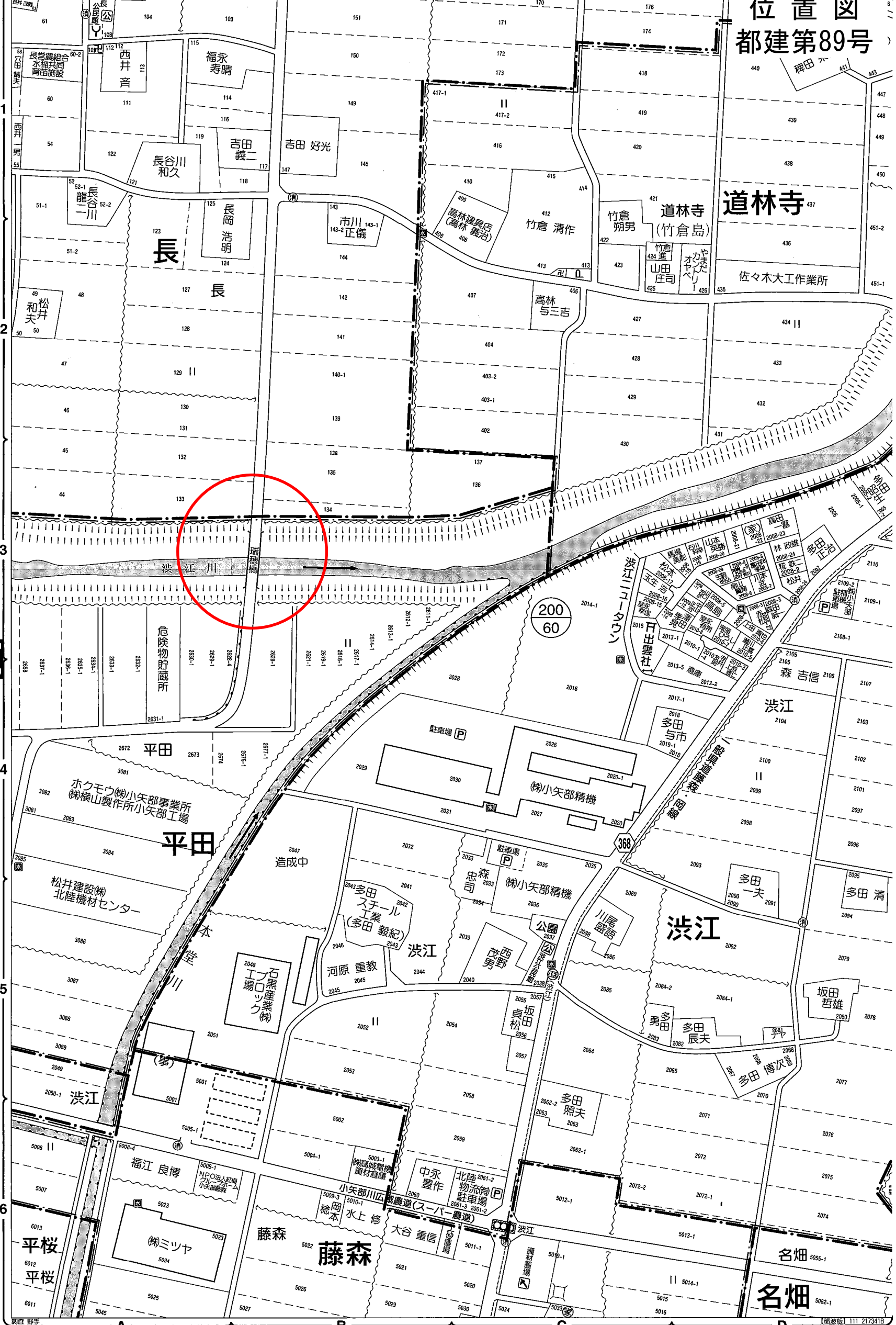
Y-10

4

5

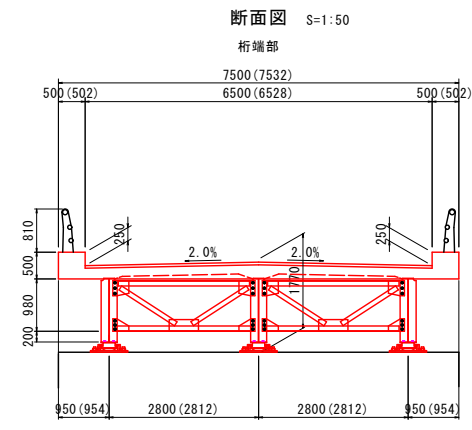
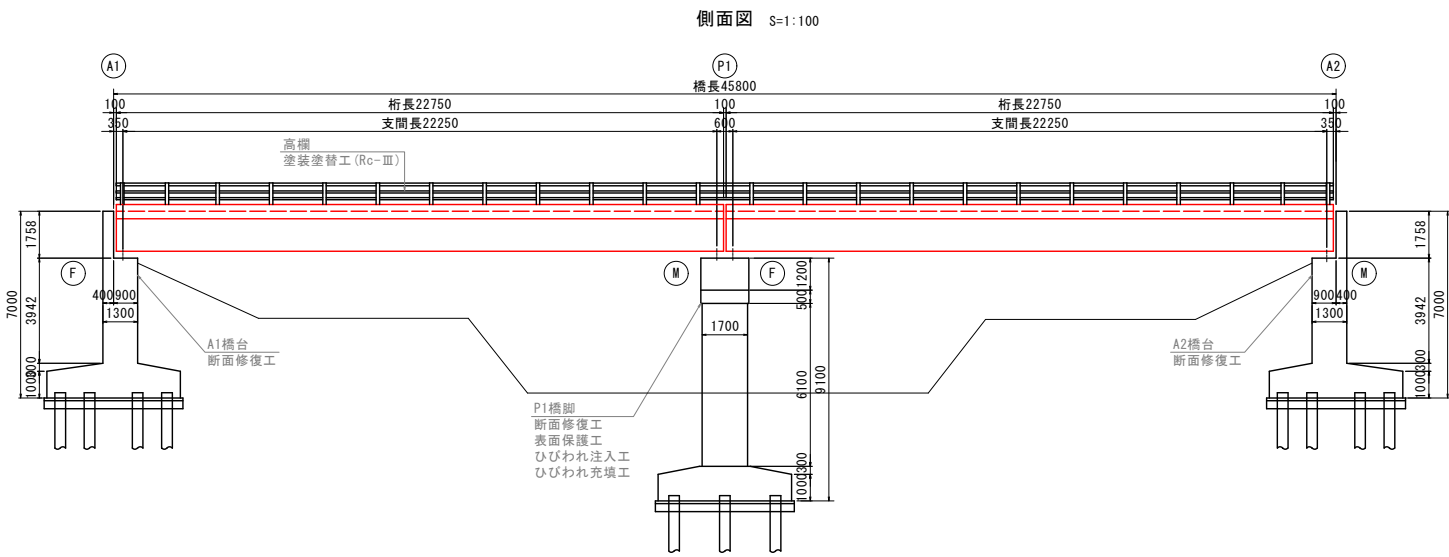
6

A B C D

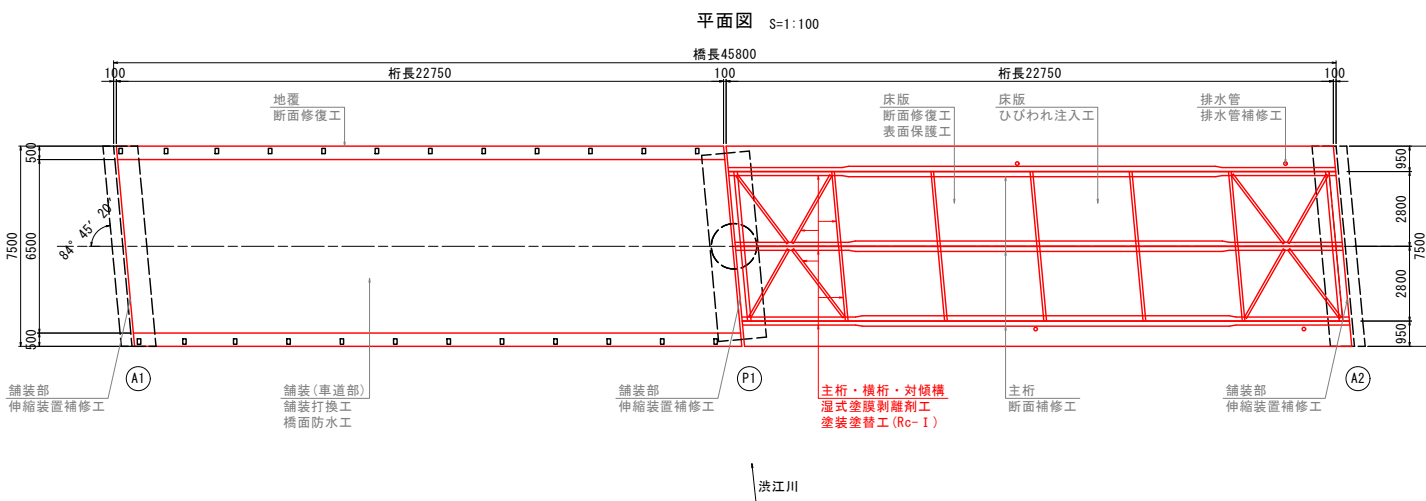


A B C D

瑞穂橋 補修一般図



※ () 寸法は斜寸法を示す。



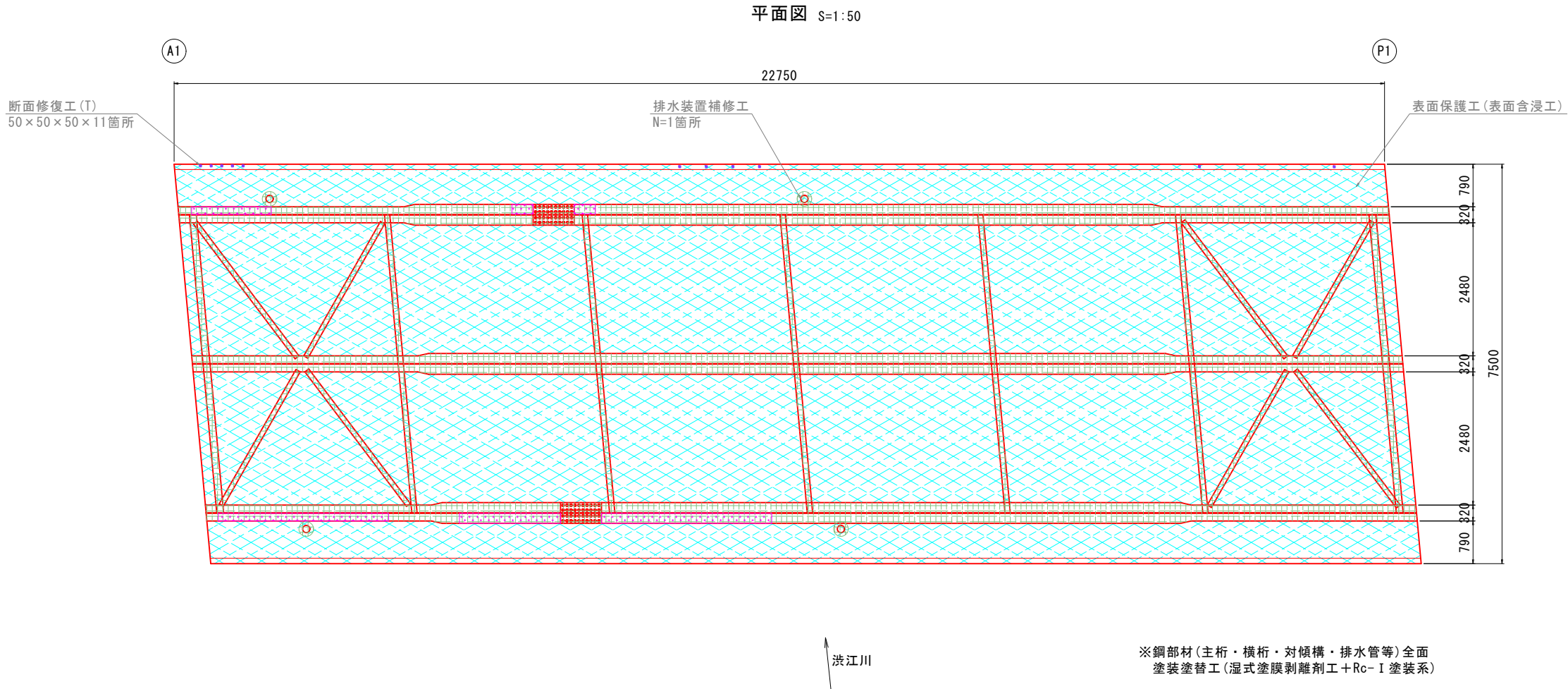
補修工法一覧表

補修工法	詳細事項	部材
舗装打換工	アスファルト舗装	車道舗装部
橋面防水工	塗膜系防水	車道舗装部
伸縮装置補修工	伸縮装置取替工	車道部 (A1橋台、P1橋脚、A2橋台)
断面修復工	左官工 (無機系)	上部工 (床版)、下部工 (A1橋台、P1橋脚、A2橋脚)
		付属物 (地覆)
塗装塗替工	湿式塗膜剥離剤工	上部工 (主桁・横桁・対傾構)、付属物 (支承・排水管)
	Rc-Ⅰ 塗装系	上部工 (主桁・横桁・対傾構)、付属物 (支承・排水管)
	Rc-Ⅲ 塗装系	付属物 (高欄)
表面保護工	表面含浸工	上部工 (床版)、下部工 (P1橋脚)
ひびわれ補修工	ひびわれ注入工 (有機系)	上部工 (床版)、下部工 (P1橋脚)
	ひびわれ充填工 (有機系)	下部工 (P1橋脚)
断面補修工	減肉部パテ補修	上部工 (主桁)
排水管補修工		付属物 (排水管)

注記 1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 図中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
3. 施工時は、可能な限り車両通行が可能となる交通規制計画を立案すること。

工 事 名	市道増生東型谷線瑞穂橋補修その2工事		
図 面 名	瑞穂橋 補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1
作成年月日	平成	年	月 日
課長	係長	調査	設計
小 矢 部 市			

瑞穂橋 補修図(その4)
桁下A1-P1



塗装塗替工 Rc-I 塗装系(スプレー)

塗装工 施工手順	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

補修数量(桁下A1-P1)

項 目	数 量	単位
断面修復工	0.001	m3
表面保護工(表面含浸工)	148.79	m2
断面補修工	1.52	m2
排水装置補修工	1	箇所
湿式塗膜剥離剤工	319.56	m2
塗装塗替工(Rc-I)	319.56	m2

凡例

	: 断面修復工(左官工)
	: 塗装塗替工(Rc-I塗装系)
	: 表面保護工(表面含浸工)

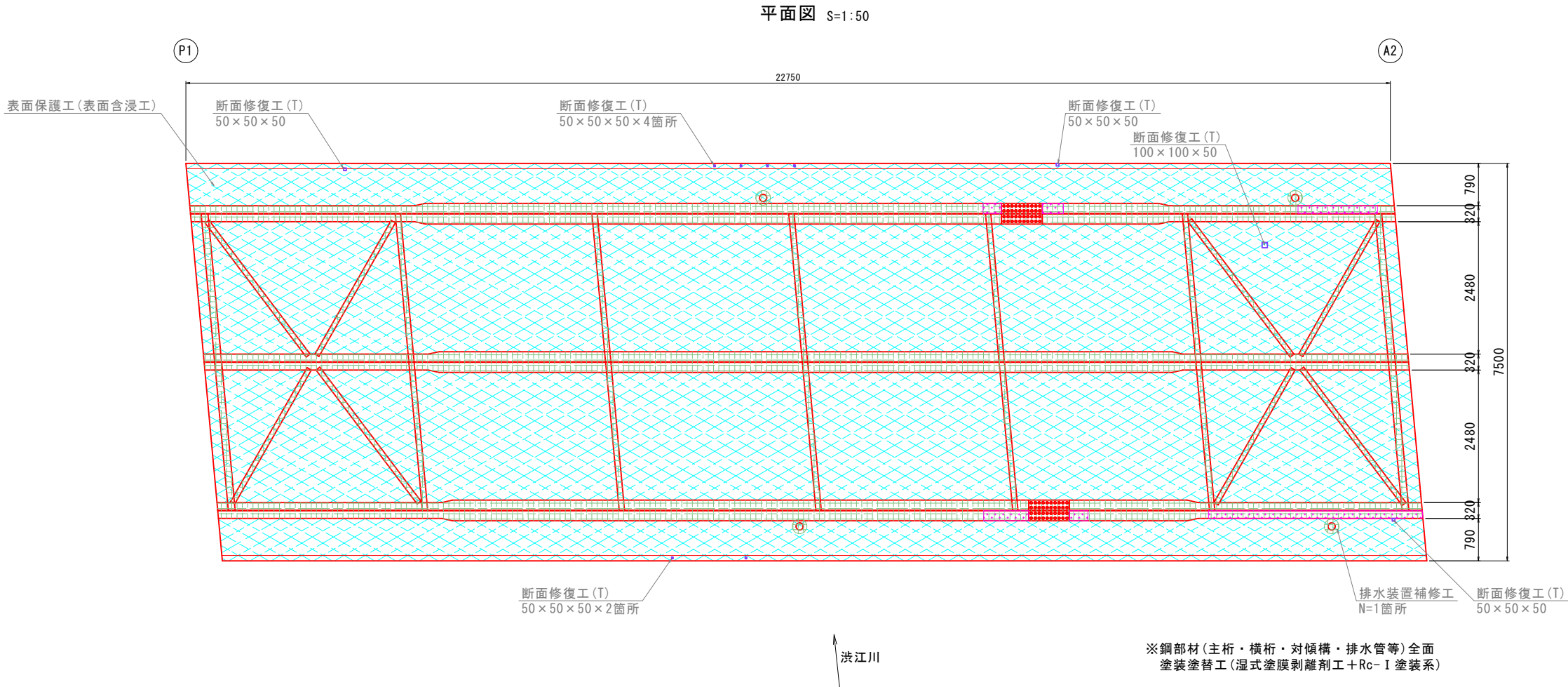
※図中アルファベット記号は、
元の損傷を表す。
T : 鉄筋露出

注記

- 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
- 現地寸法確認時、既設建築物との干渉があり補修が困難な箇所がみられる場合は、該当箇所の補修の方法および要否を協議すること。
- 施工時交通規制は可能な限り供用可能とすること。
- 品質規格表の項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。
- 再塗装に使用する材料は、保管に注意し、湿気、塵埃等から十分に保護すること。
- 現況の塗装に鉛化合物が含有しているため、塗装を行う前に塗膜剥離剤による処理を行い、廃棄物を湿潤化して回収すること。
- 素地調整による粉塵等が外部に漏れないように防護にて完全に密封するとともに、適切に廃棄すること。
- 可能な限り、水洗等にて塩分が50mg/m2以下になるまで除去すること。
- 素地調整終了後は同日中に必ず下塗りまたは補修塗りをを行うこと。
当日塗装できなかった場合は、翌日改めて素地調整を行った後に塗装すること。
- 角部において面取りや曲面仕上げが行われていない箇所では、専用加工機等による曲面仕上げを行うとともに、先行塗装を実施すること。
- 再塗装施工完了後、残存研掃材、粉塵などは、エアー又は手ほうきなどで入念に取り除き、橋梁の健全な環境を確保すること。
- 断面修復工のカッター工は現地確認の上、作業の有無を決定すること。
再劣化防止のために、既設鉄筋の背面まで研り出すこと。
- コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
防錆処理は既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布すること。
防錆剤の種類はポリマーセメント系とすること。
- 断面修復工で重ね塗りをを行う場合は、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- 断面修復工は損傷箇所から100mm程度ずつ余裕を確保した断面で実施すること。
- 断面補修時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙を残さないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶりを確認すること。
- 使用する断面修復材は、設計基準強度24N/mm2以上の強度の修復材を使用すること。
- 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
 - 腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆剤を塗布すること。
 - 鉄筋の断面欠損が著しい場合には、新たに鉄筋(添え筋)を追加すること。
 - 損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
- 補修材を施工条件等により変更する場合は、発注者と協議を行うこと。

工 事 名		市道増生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事			
図 面 名		瑞穂橋 補修図(その4) 桁下A1-P1			
縮 尺		図示	図面番号	5	
作成年月日		平成	年	月	日
課長	係長	照査	設計	製図	
小 矢 部 市					

瑞穂橋 補修図(その6)
桁下P1-A2



塗装塗替工 Rc-I 塗装系(スプレー)

塗装工 施工手順	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

補修数量(桁下P1-A2)

項 目	数 量	単位
断面修復工	0.002	m3
表面保護工(表面含浸工)	148.79	m2
断面補修工	1.22	m2
排水装置補修工	1	箇所
湿式塗膜剥離剤工	319.56	m2
塗装塗替工(Rc-I)	319.56	m2

凡例

	: 断面修復工(左官工)
	: 塗装塗替工(Rc-I塗装系)
	: 表面保護工(表面含浸工)

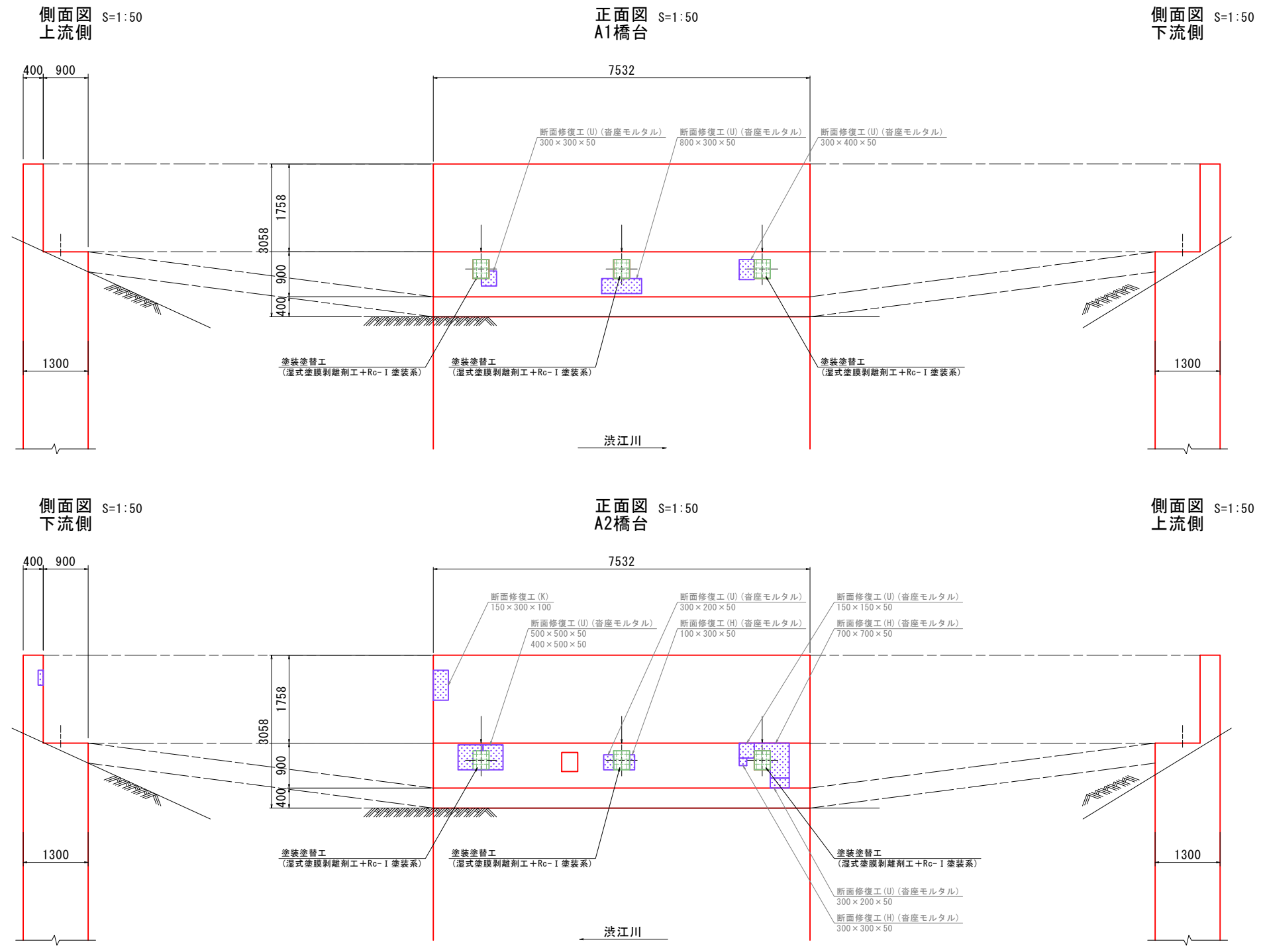
※図中アルファベット記号は、
元の損傷を表す。
T : 鉄筋露出

注記

- 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
- 現地寸法確認時、既設建築物との干渉があり補修が困難な箇所がみられる場合は、該当箇所の補修の方法および可否を協議すること。
- 施工時交通規制は可能な限り供用可能とすること。
- 品質規格表の項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。
- 再塗装に使用する材料は、保管に注意し、湿気、塵埃等から十分に保護すること。
- 現況の塗装に鉛化合物が含有しているため、塗装を行う前に塗膜剥離剤による処理を行い、廃棄物を湿潤化して回収すること。
- 素地調整による粉塵等が外部に漏れないように防護にて完全に密封するとともに、適切に廃棄すること。
- 可能な限り、水洗等にて塩分が50mg/m2以下になるまで除去すること。
- 素地調整終了後は同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行うこと。
当日塗装できなかった場合は、翌日改めて素地調整を行った後に塗装すること。
- 角部において面取りや曲面仕上げが行われていない箇所では、専用加工機等による曲面仕上げを行うとともに、先行塗装を実施すること。
- 再塗装施工完了後、残存研掃材、粉塵などは、エアー又は手ほうきなどで入念に取り除き、橋梁の健全な環境を確保すること。
- 断面修復工のカッター工は現地確認の上、作業の有無を決定すること。
再劣化防止のために、既設鉄筋の背面まで斫り出すこと。
- コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
防錆処理は既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布すること。
防錆剤の種類はポリマーセメント系とすること。
- 断面修復工で重ね塗りをを行う場合は、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- 断面修復工は損傷箇所から100mm程度ずつ余裕を確保した断面で実施すること。
- 断面補修時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙を残さないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶりを確認すること。
- 使用する断面修復材は、設計基準強度24N/mm2以上の強度の修復材を使用すること。
- 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
 - 腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆剤を塗布すること。
 - 鉄筋の断面欠損が著しい場合には、新たに鉄筋(添え筋)を追加すること。
 - 損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
- 補修材を施工条件等により変更する場合は、発注者と協議を行うこと。

工 事 名	市道増生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事				
図 面 名	瑞穂橋 補修図(その6) 桁下P1-A2				
縮 尺	図示	図面番号	7		
作成年月日	平成	年	月	日	
課長	係長	照査	設計	製図	
小 矢 部 市					

瑞穂橋 補修図(その8)
橋台A1・A2



補修数量(橋台A1)

項目	数量	単位
断面修復工	0.023	m3
湿式塗膜剥離剤工	(※)	m2
塗装塗替工(Rc-I)	(※)	m2

(※) 上部工下面の同工種数量に含む

補修数量(橋台A2)

項目	数量	単位
断面修復工	0.065	m3
湿式塗膜剥離剤工	(※)	m2
塗装塗替工(Rc-I)	(※)	m2

(※) 上部工下面の同工種数量に含む

塗装塗替工 Rc-I 塗装系(スプレー)

塗装工 施工手順	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

凡例

: 断面修復工(左官工)

: 塗装塗替工(Rc-I塗装系)

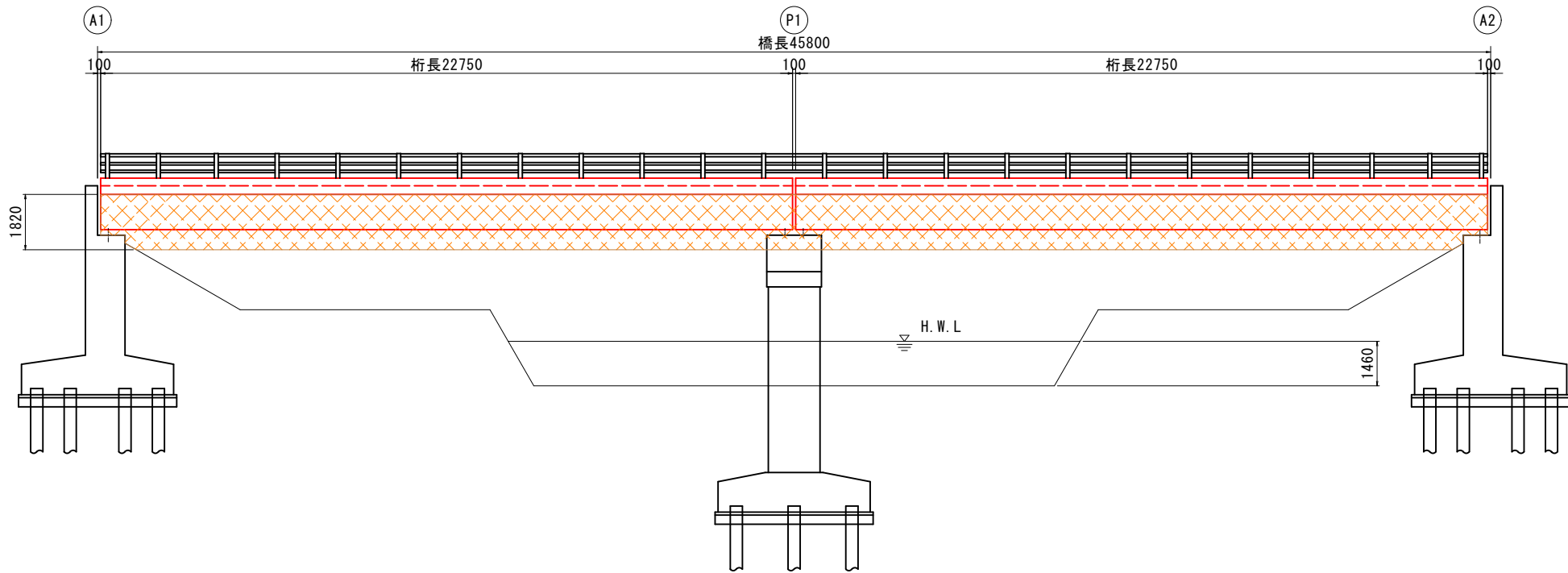
※図中アルファベット記号は、元の損傷を表す。
K : 欠損 U : うき H : 剥離

- 注記
- 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
 - 現地寸法確認時、既設建築物との干渉があり補修が困難な箇所がみられる場合は、該当箇所の補修の方法および要否を協議すること。
 - 施工時交通規制は可能な限り供用可能とすること。
 - 品質規格表の項目については、施工条件等を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要がないものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。
 - 再塗装に使用する材料は、保管に注意し、湿気、塵埃等から十分に保護すること。
 - 現況の塗装に鉛化合物が含有しているため、塗装を行う前に塗膜剥離剤による処理を行い、廃棄物を湿潤化して回収すること。
 - 素地調整による粉塵等が外部に漏れないように防護にて完全に密封するとともに、適切に廃棄すること。
 - 可能な限り、水洗等にて塩分が50mg/m2以下になるまで除去すること。
 - 素地調整終了後は同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行うこと。
 - 当日塗装できなかった場合は、翌日改めて素地調整を行った後に塗装すること。
 - 角部において面取りや曲面仕上げが行われていない箇所では、専用加工機等による曲面仕上げを行うとともに、先行塗装を実施すること。
 - 再塗装施工完了後、残存研掃材、粉塵などは、エアア又は手ほうきなどで入念に取り除き、橋梁の健全な環境を確保すること。
 - 断面修復工のカッター工は現地確認の上、作業の有無を決定すること。再劣化防止のために、既設鉄筋の背面まで研り出すこと。
 - コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。防錆処理は既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布すること。防錆剤の種類はポリマーセメント系とすること。
 - 断面修復工で重ね塗りを行う場合は、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
 - 断面修復工は損傷箇所から100mm程度ずつ余裕を確保した断面で実施すること。
 - 断面補修時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙を残さないように施工すること。なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶりを確認すること。
 - 使用する断面修復材は、設計基準強度24N/mm2以上の強度の修復材を使用すること。
 - 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
 - 腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆剤を塗布すること。
 - 鉄筋の断面欠損が著しい場合には、新たに鉄筋(添え筋)を追加すること。
 - 損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。
 - 補修材を施工条件等により変更する場合は、発注者と協議を行うこと。

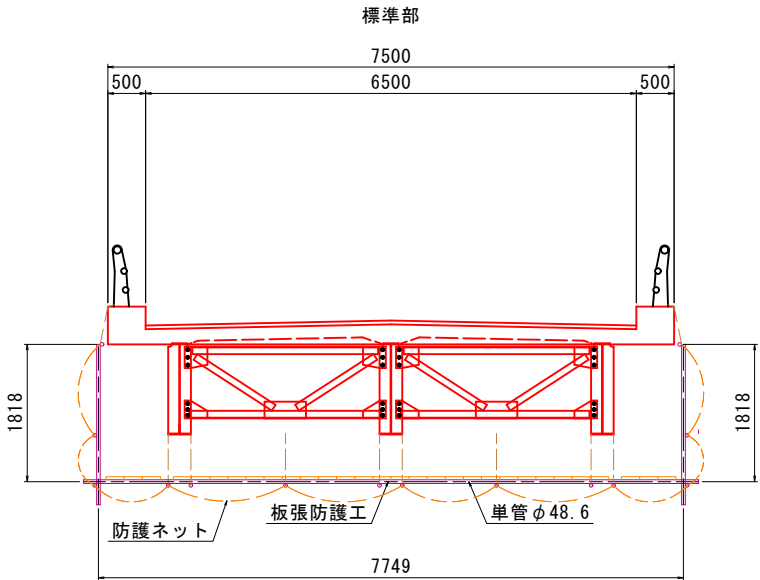
工 事 名		市道増生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事			
図 面 名		瑞穂橋 補修図(その8) 橋台A1・A2			
縮 尺		図示	図面番号		9
作成年月日		平成 年 月 日			
課長	係長	照査	設計	製図	
小 矢 部 市					

瑞穂橋 補修図(その11)
足場参考図

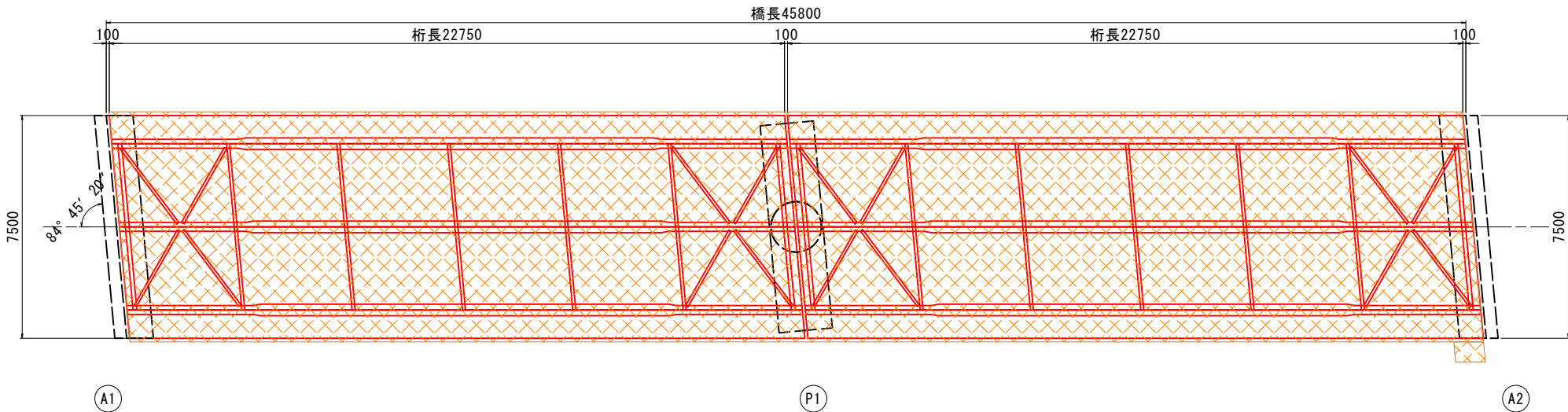
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



1. 橋梁の既設塗膜には鉛等有害物が含有しているため、施工にあたっては、関係法令を遵守するとともに適切な措置を講じること。
2. 負圧集塵装置は施工区画の容積に応じて適切な能力のものを使用すること。

$V1 = (W) 7.75m \times (L) 45.6m \times (H) 1.82m = 643.2m^3$
 $V2 = (W) 0.7m \times (L) 1.0m \times (H) 1.82m = 1.27m^3$ (昇降口)
 $V = V1 + V2 = 643.2m^3 + 1.27m^3 = 644.5m^3$
必要風量 = $644.5 \div 15分 = 43m^3/min$

工 事 名		市道増生東蟹谷線瑞穂橋補修その2工事			
図 面 名		瑞穂橋 補修図(その11) 足場参考図			
縮 尺		図示	図面番号	12	
作成年月日		平成 年 月 日			
課長	係長	照査	設計	製図	
小 矢 部 市					